**患者向医薬品ガイド**

2024年7月更新

# リザトリプタンOD錠10mg「VTRS」

## 【この薬は？】

| | |
|---|---|
| 販売名 | リザトリプタンOD錠10mg「VTRS」<br>RIZATRIPTAN OD Tablets |
| 一般名 | リザトリプタン安息香酸塩<br>Rizatriptan Benzoate |
| 含有量<br>(1錠中) | 14.530mg<br>(リザトリプタンとして　10mg) |

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html　に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

・この薬は、５－ＨＴ$_{1B/1D}$受容体作動型片頭痛治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。

・この薬は、セロトニン（５－ＨＴ）と呼ばれる物質が作用する受容体のうち、頭部の血管に存在する５－ＨＴ$_{1B}$受容体に選択的に作用して頭痛発作時の拡張しすぎた頭部の血管を収縮するとともに、神経に存在する５－ＨＴ$_{1D}$受容体に選択的に作用して神経末端からの炎症を起こす物質の放出を抑えることにより、片頭痛を改善します。

・次の病気の人に処方されます。

**片頭痛**

・この薬は、量を加減せず、医師の指示に従って飲んでください。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にリザトリプタンＯＤ錠１０ｍｇ「VTRS」に含まれる成分で過敏症のあった人
・過去に心筋梗塞になったことがある人、虚血性心疾患であるかまたはその症状や兆候がある人、異型狭心症（冠動脈攣縮）がある人
・脳血管障害や一過性脳虚血発作になったことがある人
・末梢血管障害がある人
・血圧管理が不十分な高血圧の人
・肝臓に重い障害がある人
・血液透析中の人
・エルゴタミン、エルゴタミン誘導体含有製剤、あるいは他の５－ＨＴ$_{1B/1D}$受容体作動薬（リザトリプタンＯＤ錠１０ｍｇ「VTRS」と同じ作用の他の片頭痛治療薬）を使用している人
・モノアミン酸化酵素阻害剤（ＭＡＯ阻害剤）を使用している人、あるいはモノアミン酸化酵素阻害剤の使用を中止して２週間以内の人
・プロプラノロール塩酸塩を使用している人
・家族性片麻痺性片頭痛、孤発性片麻痺性片頭痛、脳底型片頭痛あるいは眼筋麻痺性片頭痛の人

〇次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・虚血性心疾患の可能性がある人（例えば、虚血性心疾患を疑わせる重篤な不整脈がある人、閉経後の女性、４０歳以上の男性、冠動脈疾患になりやすい人）
・てんかんあるいは痙攣を起こしやすい器質的脳疾患のある人
・脳血管障害の可能性のある人
・ウォルフ・パーキンソン・ホワイト症候群（ＷＰＷ症候群）または他の心臓副伝導路と関連した不整脈がある人
・血圧管理が十分行われている高血圧の人
・肝臓に障害がある人
・妊婦または妊娠している可能性のある人
・授乳中の人

〇この薬には併用してはいけない薬[エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩（ジヒデルゴット）、エルゴメトリンマレイン酸塩（エルゴメトリンマレイン酸塩「Ｆ」）、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（メテルギン）、スマトリプタンコハク酸塩（イミグラン）、ゾルミトリプタン（ゾーミッグ）、エレトリプタン臭化水素酸塩（レルパックス）、ナラトリプタン塩酸塩（アマージ）、ＭＡＯ阻害剤、プロプラノロール塩酸塩（インデラル）]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

**●使用量および回数**

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
医師の指示どおりに飲んでください。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

| 一回量 | １錠 |
|---|---|
| 飲む回数 | 片頭痛の頭痛発作が起こっている時に飲んでください。なお、効果が不十分な場合には、追加で飲むことができますが、前回飲んだ時から２時間以上あけてください。ただし、１日２錠を超えて使用しないでください。 |

・この薬は片頭痛の頭痛発作が起こっている時にのみ使用し、予防を目的として使用しないでください。
・この薬を使用しても全く効果が認められない場合には、これ以上この薬を使用せず、医師に相談してください。頭痛の原因を確認するため再検査を行う場合があります。

**●どのように飲むか？**

・この薬は、口の中で溶かして飲む薬です。舌の上にのせて唾液で溶かして飲み込んでください。水なしで飲むことができますが、水で飲んでも構いません。

**●多く使用した時（過量使用時）の対応**

眠気、めまい、高血圧、嘔吐、徐脈、失神、失禁などがあらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに受診してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を使用後、胸の痛みや胸の圧迫感などの一時的な症状があらわれることがあるので（強く咽喉頭の辺りまで症状が出る場合もあります)、これらの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
・心血管系の病気がない人でも、心臓に重篤な障害が極めてまれに起こることがあるので、異常を感じた場合には、ただちに医師に連絡してください。
・頭痛発作時あるいはこの薬を飲んだ後に眠気があらわれることがありますので、この薬を飲んでいる間は自動車の運転など危険を伴う機械の操作を行わないようにしてください。
・この薬を含むトリプタン系の薬により、頭痛が悪化することがあるので、この薬を使用しても良くならない場合には医師に相談してください。
・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
・授乳している人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|---|---|
| アナフィラキシーショック<br>アナフィラキシーショック | 全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる |
| アナフィラキシー<br>アナフィラキシー | 全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい |
| 虚血性心疾患様症状<br>きょけつせいしんしっかんようしょうじょう | しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、息苦しい |
| 頻脈（ＷＰＷ症候群における）<br>ひんみゃく（ダブリューピーダブリューしょうこうぐんにおける） | めまい、動悸、胸の不快感、気を失う |
| てんかん様発作<br>てんかんようほっさ | 顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える |
| 血管浮腫<br>けっかんふしゅ | 唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい |
| 中毒性表皮壊死融解症<br>ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう | 皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ |
| 呼吸困難<br>こきゅうこんなん | 息苦しい、息切れ |
| 失神<br>しっしん | 短時間、意識を失い倒れる |
| 薬剤の使用過多による頭痛<br>やくざいのしようかたによるずつう | 頭痛 |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|---|---|
| 全身 | ふらつき、冷汗が出る、顔や手足の筋肉がぴくつく、発熱 |
| 頭部 | めまい、気を失う、一時的にボーっとする、意識の低下、短時間、意識を失い倒れる、頭痛 |
| 顔面 | 顔面蒼白、唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる |
| 口や喉 | 喉のかゆみ、喉がつまる感じ、声が出にくい |
| 胸部 | 動悸、息苦しい、しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、胸の不快感、息切れ |

| 部位 | 自覚症状 |
|---|---|
| 手・足 | 手足が冷たくなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、脈が速くなる |
| 皮膚 | 全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ |

## 【この薬の形は？】

| | | |
|---|---|---|
| 形状 | 口腔内崩壊錠<br> | |
| PTP シート | <br><br>表面 | <br><br>裏面 |
| 直径 | 8.2mm | |
| 厚さ | 3.5mm | |
| 重さ | 200mg | |
| 色 | 白色～灰白色 | |
| 識別コード | 10YYVT | |

## 【この薬に含まれているのは？】

| 有効成分 | リザトリプタン安息香酸塩 |
|---|---|
| 添加剤 | D-マンニトール、結晶セルロース、クロスポビドン、スクラロース、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、香料 |

## 【その他】

**●この薬の保管方法は？**

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

**●薬が残ってしまったら？**

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ヴィアトリス・ヘルスケア合同会社
販　売　会　社：ヴィアトリス製薬合同会社
メディカルインフォメーション部
フリーダイヤル　０１２０-４１９-０４３
受付時間：月～金　９時～１７時３０分
（土日祝および当社休業日を除く）